



漁業者名	勝倉漁業株式会社
漁業種類	遠洋まぐろはえ縄漁業
計画期間	平成30年4月～令和5年3月
計画の種類	一般型

計画作成の背景・課題

将来的な乗組員の確保を重要と考え、乗組員の船内環境を最優先に考慮して遠洋まぐろはえ縄漁船492tの代船建造を行い、安全性・作業性・労働環境の改善と省エネにより経営基盤の強化を図ることとした。



計画期間中に建造した新船

計画における取組内容

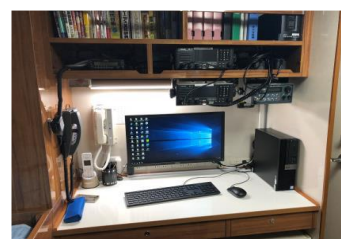
- ・ 遠洋まぐろはえ縄漁船の建造による生産効率の向上（上甲板に餌料保管庫の設置、縦型ベルトコンベアー・グレーズタンク・管棚リフターの導入）
- ・ 省エネ型新船の建造による燃油消費量の削減（SGプロペラ・ウェザールーティングシステムの導入）
- ・ 安全性の改善（セーフティルーフの設置、監視カメラの設置）
- ・ 後継者確保・育成対策（居住空間・インターネット環境の整備、水産高等学校等への積極的な働きかけ）
- ・ 漁業経営改善支援資金の活用による支払利息の軽減



セーフティルーフにより作業の安全性が向上



居住空間は以前より拡大され快適化



船内のインターネット環境整備で航海中も家族と連絡可能

計画による効果

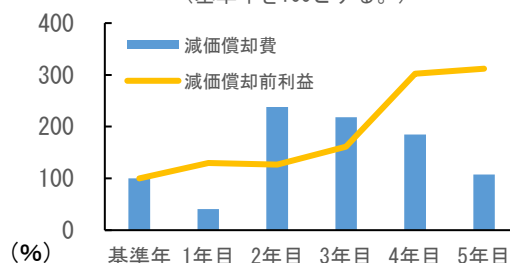
計画の各取組を実施し、経営の向上の指標である減価償却前利益は計画目標（+16.5%以上）を達成した。

燃油使用量削減
▲17.4%
955L→789KL/年

若手船員の確保
毎年1名
2年目から4年目

減価償却前利益
達成 ✓
計画目標を達成

減価償却費・減価償却前利益の推移
（基準年を100とする。）



今後の展望

老朽化した所有船1隻を令和8年度に漁業経営改善制度を活用して代船建造することとし、更なる経営基盤の強化を目指す。

